

MITSUBISHI

三菱 加湿機（ディスク気化式 / 卓上型）

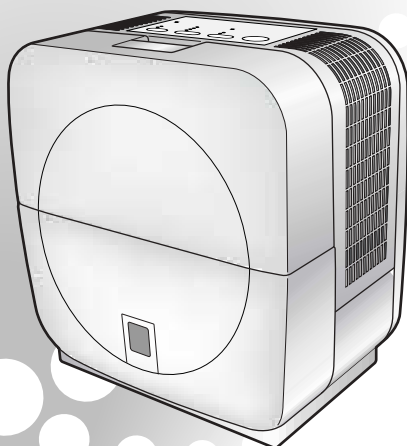
形名

エスバイ ディーケー

SV-DK808

取扱説明書

〈保証書付〉裏表紙に付いています



省エネで 守る環境 豊かな暮らし

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる、「製品登録サービス」を実施しております。詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage>

もくじ

ページ

● 特長	2	使うまえ
○ よくあるご質問	3	
● 上手な使いかた	3	
● 安全のために必ずお守りください	4	
● お願い	6	
● 知っておいていただきたいこと	6	
○ 効率良く加湿するポイント		
○ 気化式とスチームファン式の違いについて		
○ 湿度について ○ 現在湿度表示について		
● 各部のなまえとはたらき	8	
○ 本体 ○ 操作部 ○ 現在湿度表示部		
● 準備	10	使いかた
○ 給水する		
○ 電源プラグをコンセントに差込む		
○ 乾燥注意報		
○ 持ち運ぶときは		
● 運転	12	
○ 運転する ○ 終了する		
● 運転を切替える	12	
○ のどガード ○ うる肌モード		
○ 長時間(弱) ○ 連続(強) ○ 静音自動 ○ 自動		
● 切タイマー運転	14	
● 給水ランプ	14	
● お手入れ	15	いんたぎ
○ 汚れたとき		
○ 1週間に1回程度 ○ 2週間に1回程度		
○ 3日以上加湿しないとき		
○ ディスクユニット・トレイの汚れがひどいとき		
○ ディスクの間が汚れでつまったとき		
○ タンク・トレイ・ディスクユニットにヌメリや、 ピンク色・赤色の付着物があるとき		
○ ニオイがするとき		
● 保管と廃棄	19	
● 故障かな?と思ったら	20	
● 仕様	22	
● 保証とアフターサービス	22	

保証書.....裏表紙

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 裏表紙の「保証書」は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受取りください。
- 「取扱説明書(保証書)」は大切に保管してください。

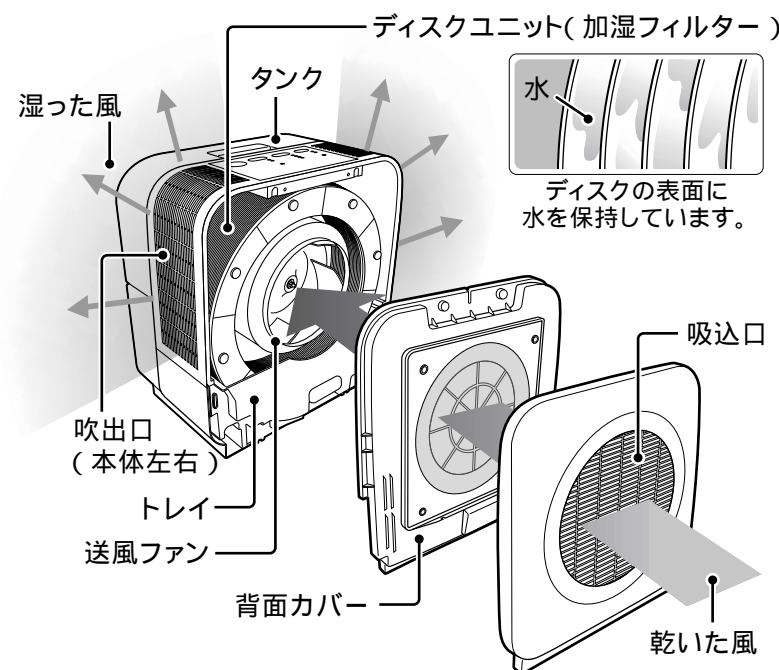
「ディスク気化式」は、
表面に水を保持させた回転するディスクに
風をあてて気化する加湿方式です。

気化式は消費電力が少なく、
スチームファン式よりも省電力です。

大風量で、冷たく湿度の高い空気を送り出して、
ゆっくりと加湿します。

水分は空気中に完全に溶け込んでいるため、
手をかざしても湿り気は感じません。

また、従来の不織布素材の加湿フィルターを
使用した「気化式」では、定期的な加湿フィルター
の交換が必要でしたが、この「ディスク気化式」では
ディスク状の加湿フィルターを使用するため、
交換なしで継続的にお使いいただけます。



●「カルキ水回収システム」について

加湿をすると水分は気化されますが、水アカの原因となるカルキ成分が残ってしまうため、時間とともに蓄積されてしまいます。

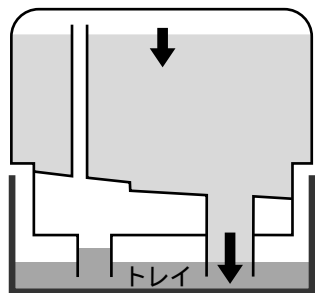
この問題を解決するため、タンクを2層式にした「カルキ水回収システム」を搭載しました。

カルキ成分が濃くなった水をトレイから回収し、トレイ内のカルキの濃縮を抑えるシステムです。

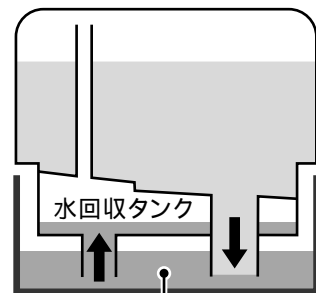
このシステムにより、給水時に水回収タンクにたまった水をすてることで、ディスクやトレイの清掃の手間を軽減します。また、カルキ付着による加湿能力の低下を防ぎます。

●「カルキ水回収システム」のしくみ

給水タンクに給水して
本体にセットすると、トレイ
にキレイな水を給水します。

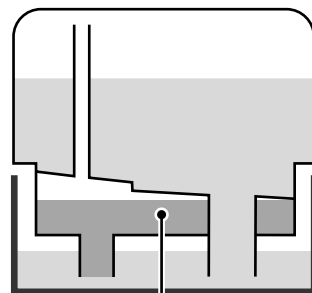


トレイのカルキ成分が濃く
なった水を、自動的に
水回収タンクに回収します。



カルキ成分が濃くなった水

次回の給水時に、
水回収タンクにたまった水
をすててください。



カルキ成分が濃くなった水

よくあるご質問

蒸気が出ないけど、加湿してるの？

- 水分を気化させて加湿するため、蒸気は出ません。吹き出す風は冷風です。
- 長時間(弱)、連続(強)以外では、間欠運転を行ないます。P12-13
目標の湿度に達すると、加湿(送風)を止め、湿度が下がってくると加湿(送風)を再開します。

冷たい風が出るけど？

- 水分を気化させて加湿するため、吹き出す風は冷風です。風が当たって寒く感じる場合は、「静音自動」または「長時間(弱)」で使うか、設置場所を変えてください。

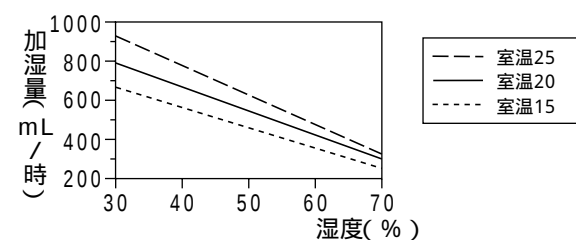
湿度が上がらないのはなぜ？

- お部屋が広いと、湿度が上がりにくくなります。適用床面積を確認してください。P22
- 窓や出入口の開閉が多いと、換気率が高くなり、湿度が上がりにくくなります。
- 「長時間(弱)」で運転すると、湿度が上がりにくくなります。P13

加湿量が少ないのはなぜ？

気化式ですので、次の場合には加湿量が少なくなります。

- 雨の日など、湿度が高いとき
- 室内の温度が低いとき



このグラフは日本電機工業規格(JEM1426)に基づき、室温・湿度を変えて測定した値です。使用する部屋の状態によっては、加湿量が異なる場合があります。

こんなときには、
この運転がおすすめ！

運転を切換える
P12-13

お肌のカサカサ予防に

うる肌モード

肌の水分量を保つよう、
自動的に加湿したり、加湿を
止めたりします。



かぜが流行する時期に

のどガード

のど粘膜の乾燥を防ぐよう、
自動的に加湿したり、加湿を
止めたりします。



一定の湿度を保ちたいときに

自動

湿度50%を保つように自動
的に加湿したり、加湿を止め
たりします。



一定の風量で 加湿したいときに

連続(強)

風量 強でお部屋の湿度に
関係なく、加湿を続けます。

長時間(弱)

風量 弱でお部屋の湿度に
関係なく、加湿を続けます。



おやすみのときなど、 長時間加湿したいときに 静かに加湿したいとき 給水する手間を減らしたいときに

静音自動

風量 弱で湿度50%を保つ
よう、自動的に加湿したり、
加湿を止めたりします。

長時間(弱)

風量 弱でお部屋の湿度に
関係なく、加湿を続けます。



安全のために必ずお守りください

警告

- 幼児の手の届く所では使わない
感電・けがの原因になります。
- 吹出口に棒などを入れない
けがの原因になります。
- 使用中は持ち運ばない、お手入れをしない
感電の原因になります。
- 本体を水につけない、水をかけない、直接水をいれない
本体内部に水が回りこみ、火災・感電・ショートの原因になります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。
- 修理・分解・改造はしない
火災・感電の原因になります。
修理はお買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。 P23
- 電源コードを傷つけない
加工しない、束ねない、引っ張らない、上に物をのせない、コードの根元を曲げたまま使用しない
破損して、火災・感電の原因になります。
(ペットのかみつきにもご注意ください)

- AC100Vのコンセントを単独で使用する
AC100V以外、または他の器具と併用すると火災・感電の原因になります。
電源プラグは根元まで確実に差込む
火災・感電の原因になります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。
お手入れは電源プラグを抜いてから行なう
感電の原因になります。
定期的に電源プラグのほこりを取る
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
異常時(水漏れ、コゲくさい臭いなど)は運転を停止して電源プラグを抜く
異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。
運転を停止して、お買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。 P23

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

本文中や本体に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



禁止



接触禁止



水ぬれ禁止



電源プラグを抜く



分解禁止



ぬれ手禁止



指示を守る



感電に注意(本体表示)

注意

- 不安定な場所で使わない
転倒すると、水がこぼれて感電・ショート・水漏れの原因になります。
- 暖房機・テレビなどの電化製品の上に置かない
転倒すると感電・ショートの原因になります。
- 落としたタンク・本体を使わない
そのまま使うと破損箇所から水漏れして家財などをぬらしたり、ショート・感電・発火の原因になります。
お買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。 P23
- 体に吹出風を長時間あてない
特に、自分で湿度調節できない方(乳幼児・お子さま・お年寄り)が使用するときには注意する
吹出風を体に長時間あてると、体調不良をおこす原因になります。
- タンク・トレイ内の水を飲まない・飲ませない
また、動物・植物などにタンク・トレイの水を与えない
体調不良や思わぬ事故の原因になります。
- ディスクユニットのネジを幼児の手の届くところに置かない P19
誤飲の原因になります。

- 食品や美術品・学術資料などの保存や、業務用には使用しない
また、ピアノなどの楽器の保管には使用しない
保存品・保管品の品質低下の原因になります。
- 本体持ち手を持って運ぶ
落とすとけがの原因になります。
- 給水タンクの水は毎日新しい水道水と入れかえる
また、本体内部は常に清潔に保つよう、定期的にお手入れする
お手入れせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭・汚れの原因になります。体質によっては、過敏に反応し、健康に良くないことがあります。
- 電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く
ななめに引き抜いたり、コードを持って引き抜くと、プラグの刃や芯線が破損してショート・感電・発火の原因になります。
- 使わないときは電源プラグを抜いて排水する
絶縁劣化して漏電火災・感電・水漏れの原因になります。

お願い

製品の破損・劣化・誤動作や物損を防止するために、この欄をお読みください。

水道水以外は使わない

- 40 以上のお湯や化学薬品・芳香剤・香料・アロマオイル・汚れた水などを使用すると、故障の原因になります。
- ミネラルウォーター・アルカリイオン水・マイナスイオン水・井戸水・浄水器の水などを使用すると、水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。

タンクに油類を付着させない

タンクの内外面にアロマオイル・食用油・ヘアスプレーなどが付着すると、ひび割れ・変色の原因になります。
万が一付着してしまった場合は、よくふき取ってから台所用中性洗剤できれいに洗い、水ですすいでください。

吸込口・吹出口をふさがない

故障の原因になります。

定期的にお手入れする P15-16

水質によっては、水アカが付着する場合があります。水アカなどが付着したまま使用を続けると、加湿量の低下や誤動作・故障の原因になります。付着する水アカの色(白・茶・黒)や固さは、水質によって異なります。

使わないときは水を捨てる

3日間以上使用しないときは、タンクとトレイの水を捨ててください。水を入れたまま放置すると、カビや雑菌が繁殖しやすくなり、悪臭・汚れの原因になります。

凍結に注意する

凍結のおそれがあるときは、タンクとトレイの水を捨ててください。凍結するとタンク破損の原因になります。また、凍結したまま使用すると、故障の原因になります。

知っておいていた だきたいこと

効率良く加湿するポイント

■ 温度・湿度を正しく検知するために、次のようなところで使用する

- 直射日光やエアコン・暖房機の温風が当たらないところ
- 吸気の温度が0～35 のところ
- 同じ部屋で加湿機を2台以上使うときは、60cm 以上離して使用する

■ 室内の湿度ムラをなくす

床付近と天井付近では温度・湿度が異なります。空気循環用の送風機(サーキュレーター・エアコン)などを使って、室内の空気を循環させてください。

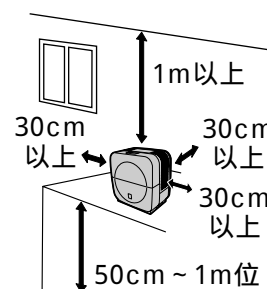
■ 室内の結露を防止する

● 加湿機の周囲をあける

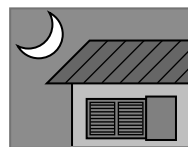
○ 天井から1m以上離す
吹出す風で、天井が結露しやすくなります。

○ 壁・窓から30cm以上離す
壁の温度は室内中央より低いため、結露しやすくなります。

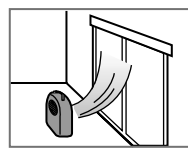
○ 床から50cm～1m位離す
湿度の分布ムラを防ぎます。



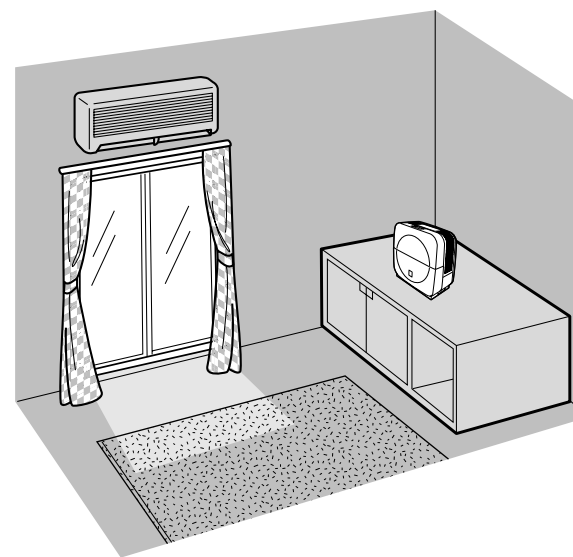
● 夜間の加湿は雨戸を閉める
冷たい外気をシャットアウトし、温度差を小さくします。
(窓の外側の温度と室温の差が大きいと、結露しやすくなります)



● 窓に風をあてる
サーキュレーターや扇風機などを使うと、結露をおさえられます。



状態によっては結露がなくなる場合もあります。



こんなところでは使わないでください

- 暖房機の上や近く、温風や直射日光があたる場所
変形・変色の原因になります。また、センサーが誤動作することがあります。
- 家具・壁・カーテン・天井などに、吹出す風が直接あたる場所
しみが付いたり、変形・変色の原因になります。
- 電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気の多い場所
正常に動作しない場合があります。
- 毛足の長いじゅうたんやふとんの上
本体が傾いて水がこぼれたり、水位センサーが正常に働かないことがあります。

- おねがい
- お子さまやペットが、本体やコードにいたずらをしないよう、ご注意ください。また、つまづかないよう、ご注意ください。けがの原因になります。
 - フローリングの床に水をこぼしてしまった場合は、すぐにふきとってください。ぬれたままにしておくと、白く変色する原因になります。

気化式とスチームファン式の違いについて

■ 運転音について

- 気化式は大風量で加湿しますので、スチームファン式にくらべて送風音が大きめです。

■ 湿度の上がりかたについて

- 気化式は、部屋の温度・湿度によって加湿量が変化します。

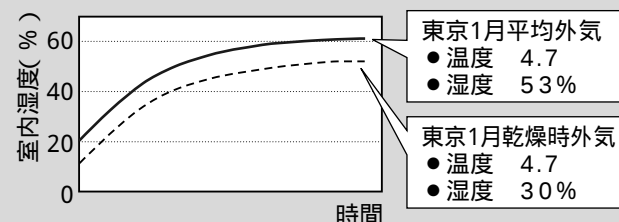
湿度について

- のどや肌に良い湿度は、55～65%と言われています。しかし、この湿度を保つと、外気温や室温によっては結露します。結露をおさえながら上手に加湿してください。

- 適用床面積の範囲で使用していても、お部屋の状態(換気率)や外気の乾燥の程度によっては湿度が上がりにくい場合があります。

仕様(22ページ)の「適用床面積」は、日本電機工業会規格(JEM1426)に基づいた数値であり、「東京の1月の平均気温・湿度のときに、室温20 の部屋で湿度を60%に維持する床面積」を基準として表記しています。
外気が乾燥していると、60%に設定しても到達しません。

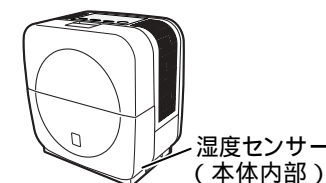
< 外気の状態と室内湿度の上がりかたのイメージ >



外気が乾燥していると、同じお部屋でも湿度が60%まで上がりません。

現在湿度表示について

- 現在湿度表示は、本体内部にある湿度センサーで測った湿度を表示します。



- 運転開始直後は本体内部の温度・湿度の影響を受けるため、現在湿度表示が安定するまでに約10分かかります。
- 同じ室内でも場所によって湿度が違います。ご自宅の状況に応じて設置してください。

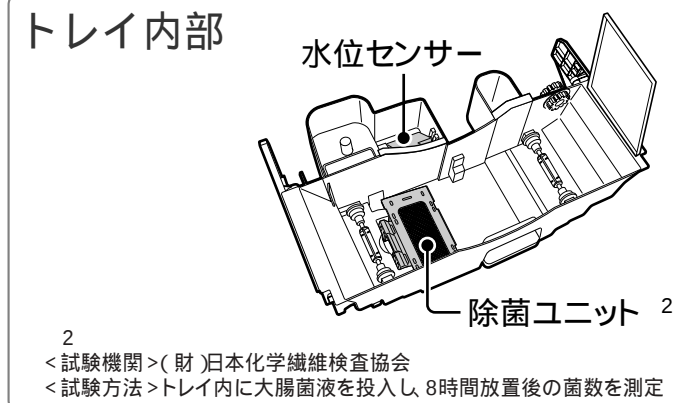
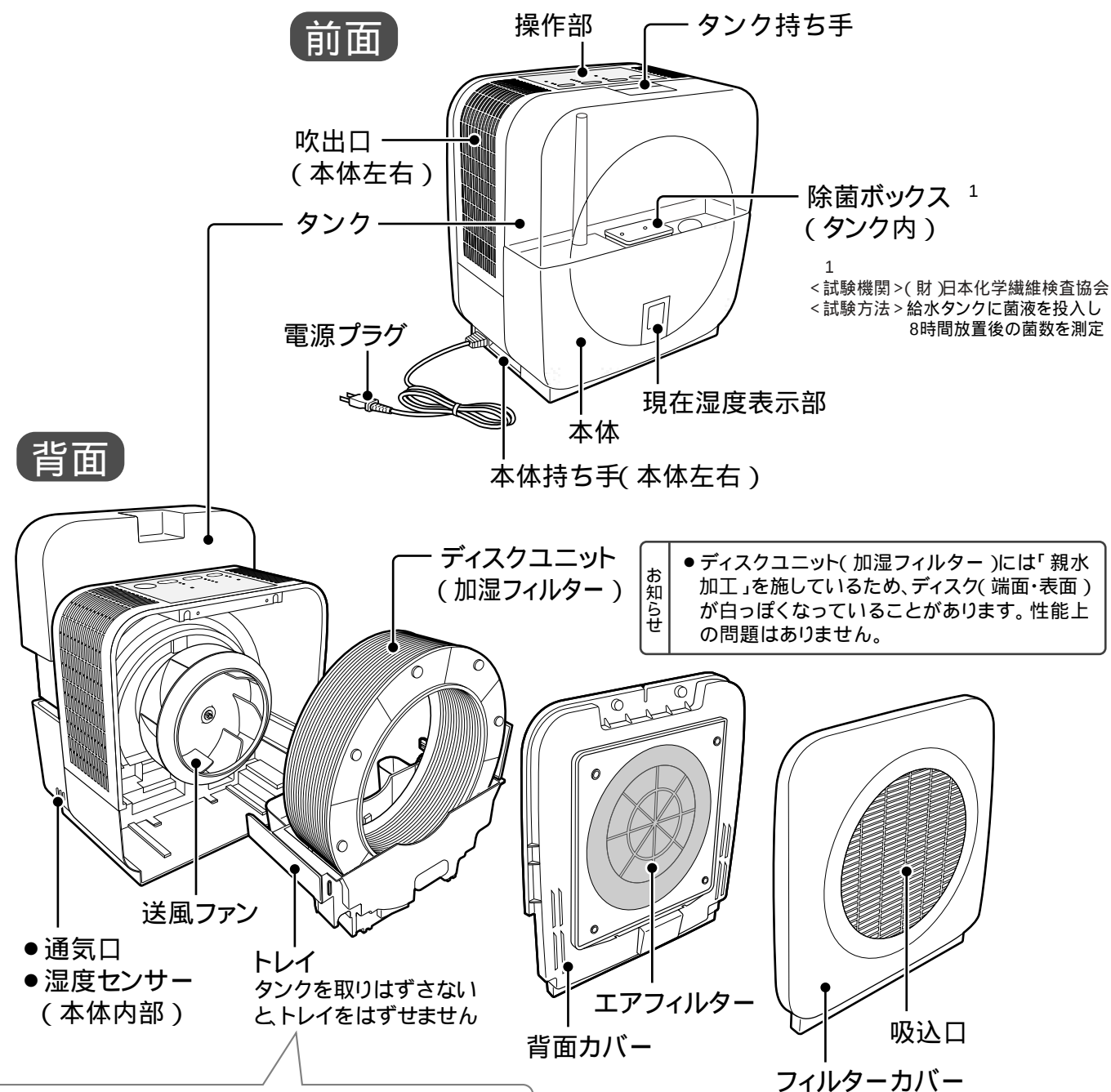
- 他の湿度計と現在湿度表示が違うことがあります。
湿度計によって測定方法が異なるためです。
市販の湿度計には、大きく分けて2つの方式があります。

方式	応答速度	一般的な有効範囲
バイメタル式 家庭用として普及しているタイプ	やや遅い	35～75% 低湿・高湿の測定が苦手といわれています
電気式 この加湿機で採用	やや速い	30～80%

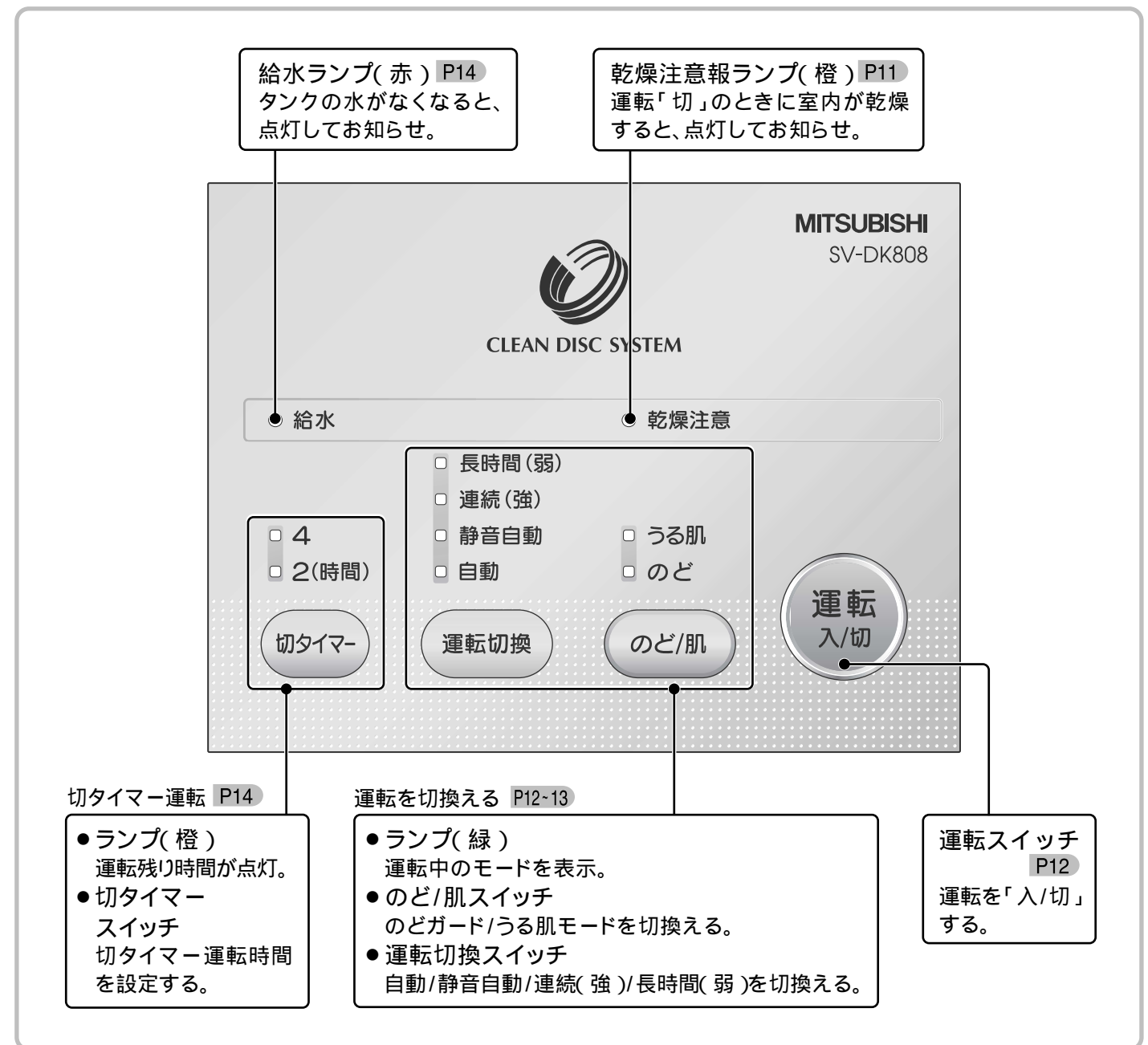
- 湿度計と当社加湿機とでは応答速度が違うため、同じ場所に置いていても±10%程度異なることがあります。
- 有効範囲が異なりますので、30%付近・70%付近では湿度差が生じやすくなります。

各部のなまえとはたらき

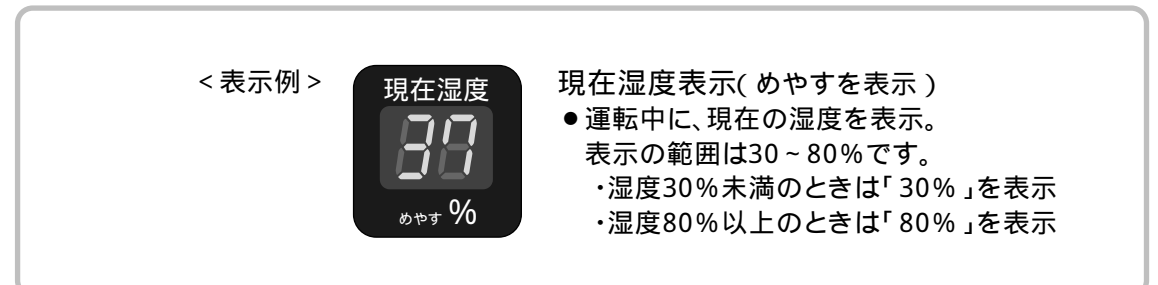
本体



操作部



現在湿度表示部



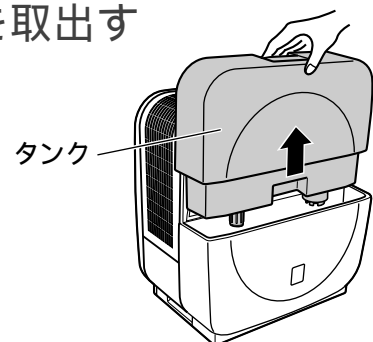
準備

ご購入後初めてお使いになるときは、本体内部のディスクユニット保護ダンボールをはずしてください。

給水する

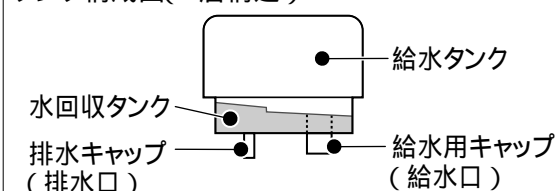
毎日新しい水と入れかえ、いつも清潔にしてお使いください。

1 タンクを取出す



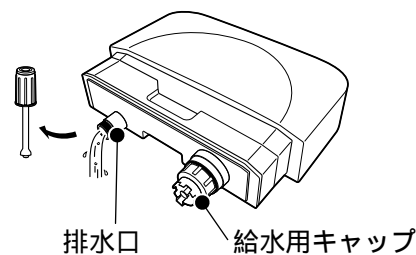
排水用キャップ・給水用キャップから水滴が落ちることがあります。ゆっくり引き上げ、水滴が落ちてからタンクを取り出してください。

タンク構成図(2層構造)



2 水回収タンクにたまった水を排水する

排水用キャップを開けて、たまった水をすてる。水回収タンクに水を入れて振り洗いし、排水する。排水用キャップをしっかりとしめる。



水回収タンクにたまった水は、給水するたびにすててください。水をすてないと、ディスクユニットに水アカがつきやすくなります。

3 給水タンクに給水する

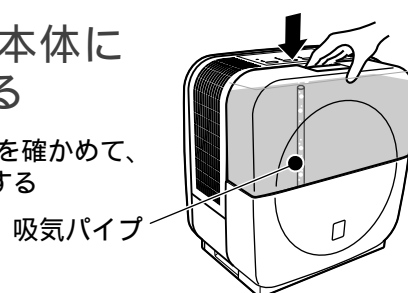
給水タンクに水が残っていたら、給水用キャップを開けて排水する。給水タンクを振り洗いし、「給水口」から水道水を指示の位置までゆっくり入れる。給水用キャップをしっかりとしめる。



- 勢いよく水を入れると、水があふれたり、はねたりすることがあります。右図の段のところからは、水をゆっくり入れてください。
- 給水用キャップの空気穴に水がつまっていたら、ティッシュペーパーや綿棒等でふき取ってください。空気穴がつまると、「ポコポコ」音が大きくなります。P21
- 油類が付着しないよう気をつけてください。油類が付着してしまった場合は、台所用中性洗剤できれいに洗い、水ですすいでください。

4 タンクを本体にセットする

タンクの向きを確かめて、静かにセットする。

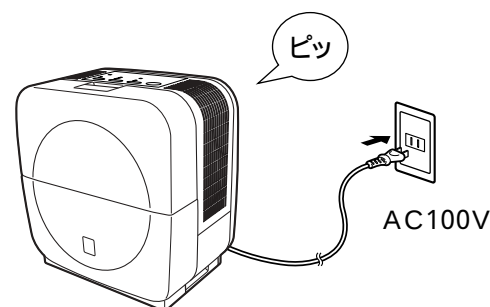


- トレイに水が満たされるまでに、1～2分かかります。
- タンクをセットすると給水タンク内の水位が下がり、吸気パイプの中を気泡が上がっていきます。トレイ内の水を回収タンクに吸い上げているためです。

- 40 以上のお湯や化学薬品・芳香剤・香料・アロマオイル・汚れた水などを使用しないでください。使用すると、変形や故障の原因になります。
- ミネラルウォーター・アルカリイオン水・マイナスイオン水・井戸水・浄水器の水などを使用すると、水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。

おながい

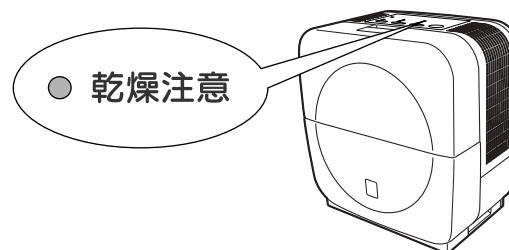
電源プラグをコンセントに差込む



室内の湿度が低いと、乾燥注意報が働きます。

乾燥注意報

乾燥注意報とは
運転「切」のときに室内の湿度が約40%以下になると、ランプが点灯してお知らせする機能です。(音は鳴りません)
加湿するめやすとしてお使いください。



運転「入」でも、次の状態のときには室内の乾燥をお知らせします。

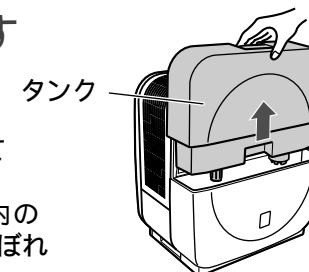
- 給水ランプ点灯時

持ち運ぶときは

運転スイッチを「切」にして電源プラグを抜き、タンクをはずして運んでください。

1 タンクを取出す

必ずタンクを取出してください。取出さないと、トレイ内の水位が上昇し、水がこぼれることがあります。



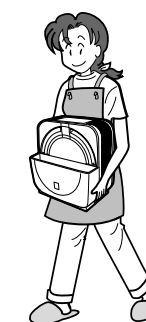
2 トレイを引出して排水し、トレイを本体にセットする P16-17

3 タンクと本体を静かに運ぶ

タンクと本体は、別々に運んでください。

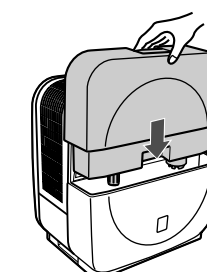
<タンク>
両手でタンクの持ち手を持って運ぶ

<本体>
本体下部の持ち手に手をかけて運ぶ



- 持ち手を持って運んでください。
- 本体をかたむけたり、ゆらしたりすると、水がこぼれることがあります。
- フィルターカバー・背面カバーをはずした状態で、本体を運ばないでください。

4 本体を設置し、タンクを取付ける



使いかた

運転する



押す

- 現在湿度点灯



加湿を始めます。
お好みの運転を選んでください。 P12-13

運転開始時には次のような動作があります

- 使いはじめの7分間は、湿度に関係なく強制的に加湿します。
- 現在湿度表示が安定するまで約10分間かかります。

- タンクに水がなくなると、給水ランプが点灯します P14

終了する



押す

- 現在湿度消灯



再度運転するときは
運転スイッチを「切」にしたり、電源プラグを抜いても、
も、設定を記憶しているため、同じ設定で運転を始めます。

運転を切換える

「のど」「うる肌」「長時間(弱)」「連続(強)」「静音自動」「自動」の6種類の運転モードから選んで運転してください。2つ以上の運転モードを同時に設定することはできません。

< のどガード・うる肌モード >

かぜが流行する時期には「のどガード」、お肌のカサカサ予防には「うる肌モード」をお使いください。
より効果的に運転するために、下記の適用床面積の範囲でお使いください。



押す

- 選んだ運転のランプが点灯
- 押すごとに切替わります

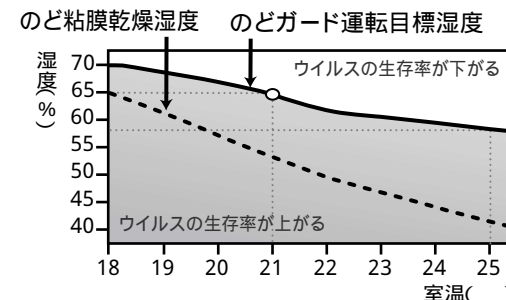
のどガード・うる肌モード適用床面積

木造和室	～ 6畳(10m ²)
プレハブ洋室	～ 10畳(16m ²)

● のどガード

湿度をみはり、間欠運転 をして室温に最適な湿度に加湿し、のど粘膜の乾燥を防ぐ湿度を保ちます。

のど粘膜乾燥湿度を下回ると、のどが乾燥します。
ウンスロー著「温度と人間」より



< 例 > 21 °C のときの目標湿度は65%になります。

「のどガード」「うる肌モード」では、湿度を少し高めに設定しています。そのため、外気温と室温の差が大きいと、室内が結露しやすくなります。「効率良く加湿するポイント」P6～7を読んで上手にお使いください。

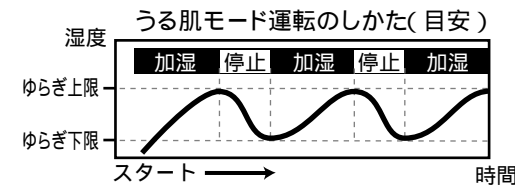
● うる肌モード

お肌に最適な湿度は、温度によって変わります。室温をみはり、間欠運転 でお肌のカサカサ予防に最適なゆらぎ加湿をします。

うる肌モードは、ときどき加湿を停止する「ゆらぎ加湿」で、過加湿による部屋のジメジメを抑制しながらお肌にうるおいを与え、静電気によるお肌へのホコリ付着も減らします。

うる肌モード運転時の室温と湿度の関係

室温	ゆらぎ上限	ゆらぎ下限	備考
17 以下	75%	65%	室温が低いときは、高めの湿度でゆらぎ加湿を行ない、お肌をしっかりガードします。
18～24	65%	55%	ゆらぎ加湿を行ない、お肌にうるおいを与えます。
25 以上	60%	50%	室温が高いときは、低めの湿度でゆらぎ加湿を行ない、お部屋の結露を抑制します。



- 加湿・停止の間隔や湿度の上昇は、環境によって変化します。

< 長時間(弱)・連続(強)・静音自動・自動 >

長時間加湿したいときは「長時間(弱)」、パワフルに加湿を続けたいときは「連続(強)」、送風音を抑えたいときは「静音自動」、湿度を一定に保ちたいときは「自動」をお使いください。



押す

- 選んだ運転のランプが点灯
- 押すごとに切替わります

● 長時間(弱)

温度・湿度に関係なく「風量 弱」で加湿を続けます。
送風・ディスクユニットの回転は、停止しません。
< 運転時間(給水タンク満水時) >
50Hz: 約11時間 60Hz: 約14時間

● 連続(強)

温度・湿度に関係なく「風量 強」で加湿を続けます。
送風・ディスクユニットの回転は、停止しません。
< 運転時間(給水タンク満水時) >
50Hz: 約6.8時間 60Hz: 約6.6時間

連続加湿をすると、結露しやすくなります。結露しはじめた場合は運転を終了するか、他の運転に切替えてください。

● 静音自動

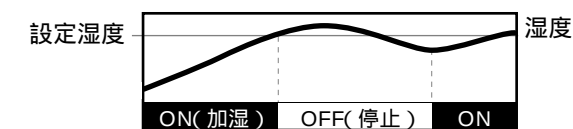
湿度50%を保つよう、「風量 弱」で自動的に間欠運転 をします。
加湿量・風量は「自動」運転よりも少なくなります。

● 自動

湿度50%を保つよう、自動的に「風量 弱」「風量 強」を切替えて間欠運転 をします。

間欠運転とは？

目標の湿度に達すると加湿(送風・ディスクユニットの回転)を止め、湿度が下がってくると加湿(送風・ディスクユニットの回転)を再開する運転です。

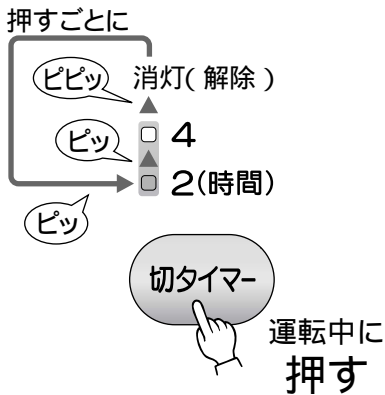


湿度が目標の湿度まで上がると風が止まり、湿度が下がると風が出ます。

切タイマー運転

おやすみのときなどにお使いください。
 運転時間を2時間 / 4時間から選ぶと、選んだ時間で
 運転したあと、自動的に運転を停止します。
 給水してから運転してください。

セットする



- 押しごとに切換わります
- 選んだ時間のランプ点灯 (切タイマー運転開始)
- セットした時間が経過すると、運転を停止

ランプの見かた

ランプ	4 2(時間)	4 2(時間)
運転残り時間	4～2時間	2時間以下

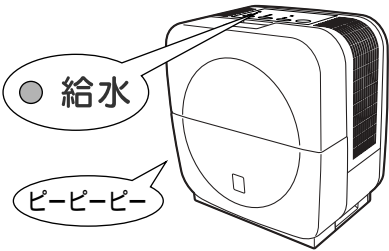
切タイマー運転中に給水タンクの水がなくなると、
 給水ランプの点灯のみでお知らせします。
 (アラームは鳴りません)

切タイマー運転を途中で解除するときは

運転スイッチを押す。(運転「切」)
 または、切タイマースイッチを押す。
 (切タイマーランプ消灯)

給水ランプ

給水タンクの水がなくなってトレイの水位が下がると、水位センサーが働いて加湿を自動的に停止し、給水ランプの点灯とアラームでお知らせします。
 運転スイッチを「切」にし、給水してください。



- 切タイマー運転中のときは、給水ランプの点灯のみでお知らせします(アラームは鳴りません)。
- 給水タンクの中に少量の水が残っている場合がありますが、故障ではありません。

< 続けて運転する場合は >
 運転スイッチを押して、運転「切」にする
 給水タンクに給水する
 もう1度運転スイッチを押して、運転「入」にする

おねがい 給水タンクを取出したときに、トレイ内の水位が変動して給水ランプが点灯する場合があります。その場合は、給水タンクをセットして運転スイッチを入れ直してください。

お手入れ



警告

- お手入れは電源プラグを抜いてから行なう。感電の原因になります。
- 本体を水につけない、水をかけない、直接水を入れない。火災・感電・ショートの原因になります。

加湿量を維持するために、定期的にお手入れしてください。
 お手入れするときは、電源プラグを抜いてください。

お手入れの頻度と場所

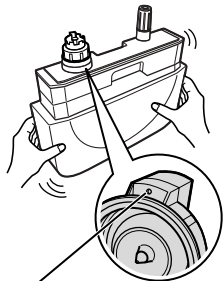
汚れたとき	タンク・本体	P15
1週間に1回程度	フィルターカバー・エアフィルター	P15
● 2週間に1回程度 ● 3日以上加湿しないとき	トレイ(排水)	P16
ディスクユニット・トレイの汚れがひどいとき	ディスクユニット・トレイの清掃	P17
ディスクの間に汚れが詰まったとき	ディスクユニットのつけ置き洗い	P18
● タンク・トレイ・ディスクユニットにヌメリや、ピンク色・赤色の付着物があるとき ● ニオイがするとき	タンク・トレイ・ディスクユニットのつけ置き洗い	P19

汚れたとき

タンク

水回収タンク・給水タンクに少量の水を入れて、振り洗いする

キャップが汚れていたら、スポンジ等で洗ってください。



< 油類が付着したとき >
 油をよくふき取り、台所用中性洗剤できれいに洗い、水ですすいでください。

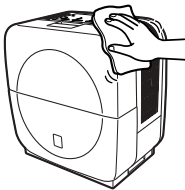
空気穴にゴミが詰まっていたら、つまようじ等で取り除いてください。

< ヌメリや、ピンク色・赤色の付着物があるとき >
 つけ置き洗いをしてください。P18

本体

柔らかい布でふく

< 汚れがひどいとき >
 中性洗剤にひたした柔らかい布を固くしぼってふきとり、からぶきする



おねがい 変質・変色防止のため、ベンジンやシンナー、アルコール、アルカリ洗剤、漂白剤などは使用しないでください。また、化学ぞうきんはその注意書きにしたがい、使用してください。

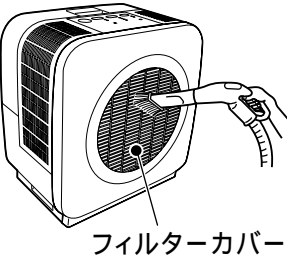
1週間に1回程度

フィルターカバー・エアフィルター

汚れがひどくなると、加湿量が減ったり、送風音が大きくなったり、湿度検知ができなくなります。こまめに掃除してください。

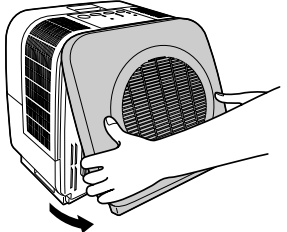
1 フィルターカバーを掃除する

掃除機でほこりを吸い取る



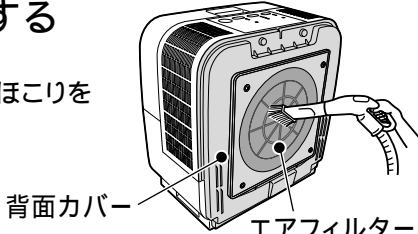
2 フィルターカバーをはずす

下側を持って手前に引く



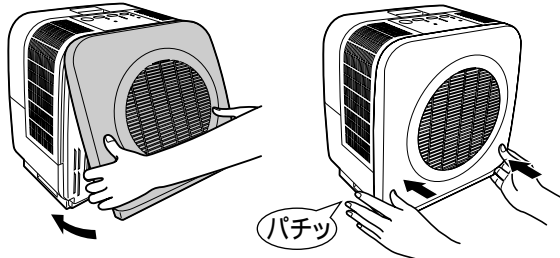
3 背面カバーのエアフィルターを掃除する

掃除機でほこりを吸い取る



- 強く押したり、こすったりしないでください。エアフィルターが傷つきます。
- 水洗いしないでください。エアフィルターの性能が劣化します。

4 フィルターカバーを取付ける



上側を本体にかけて、下側をしっかり押込む

フィルターカバーの下側(左右両側)を確実にセットしないと、「H4」を表示して運転モードランプが点滅します。フィルターカバーをセットし直してください。

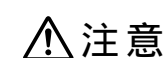
お手入れ(つづき)



警告

●お手入れは電源プラグを抜いてから行なう。
感電の原因になります。

●本体を水につけない、水をかけない、直接水を入れない。
火災・感電・ショートの原因になります。



注意

●ディスクユニットのネジを幼児の手の届くところに置かない。誤飲の原因になります。

- 2週間に1回程度
- 3日以上加湿しないとき

トレイ(排水)

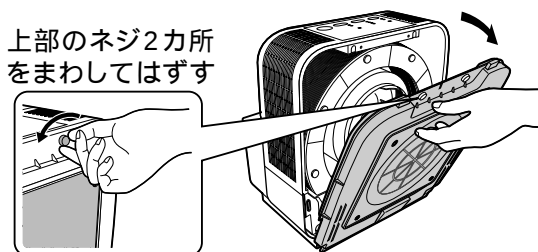
2週間に1回程度、トレイの水を排水してください。3日以上加湿しないときも、トレイの水を排水してください。運転「切」にしたあと、約40秒間送風ファンが回ります。送風ファンが停止してからお手入れしてください。

1 タンクをはずす P10

2 フィルターカバーをはずす P15

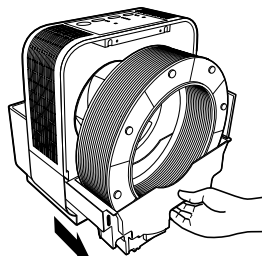
3 背面カバーをはずす

上部のネジ2カ所をまわしてはずす



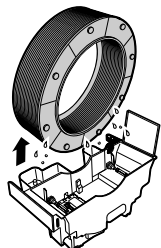
4 トレイを引出し、流し台へ持っていく

タンクを先にはずさないで、トレイを引出せません。



5 ディスクユニットを取出す

トレイ内でよく水を切ってください。

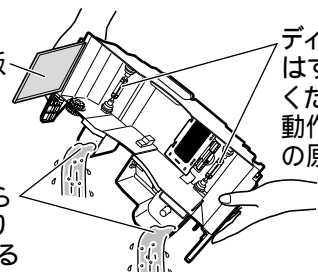


6 トレイの水を排水する

水とび防止板持たないでください。

ここからゆっくり排水する

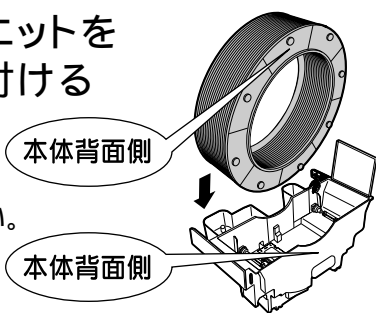
ディスク受け(2本)はずさないでください。動作不良・異常音の原因になります。



水質・使用環境・季節等により、トレイの水に変色・にごり・ニオイが出ることがあります。水の変色・にごり・ニオイが出た場合は、トレイ・ディスクユニットを清掃 P17・19し、トレイの水の排水回数を増やしてください。

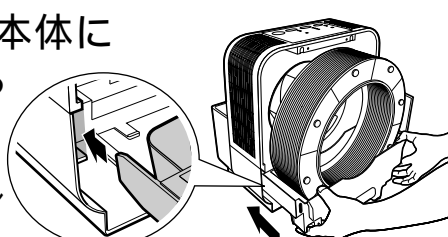
7 ディスクユニットをトレイに取付ける

表示を確認して取付けてください。



8 トレイを本体に取付ける

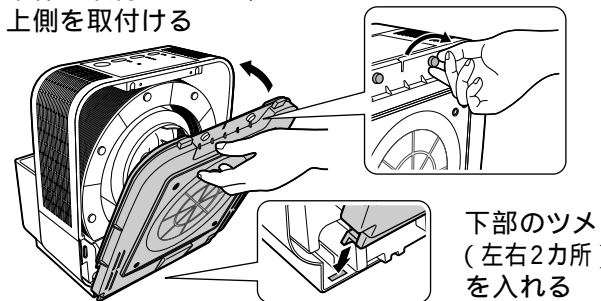
トレイを本体のレールに合わせる



9 背面カバーを本体に取付ける

背面カバーの下側を本体に取付けてから、上側を取付ける

上部のネジ(2カ所)をまわしてとめる

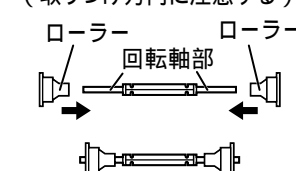


10 フィルターカバーを本体に取付ける P15

11 タンクを本体に取付ける P10

ディスク受けがはずれたときは

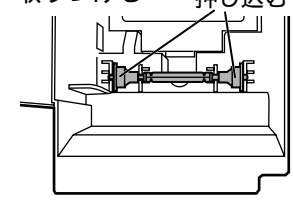
回転軸部にローラーを取りつける(取り付け方向に注意する)



位置を合わせる

回転軸部には、ローラーをスムーズに回すためにグリスがぬってあります。ふきとらないように注意してください。グリスは耐水性に優れたものを使用しています。

両端を押し込んで取りつける



ローラーがスムーズに回転することを確認する

ディスクユニット・トレイの汚れがひどいとき

ディスクユニット・トレイの清掃

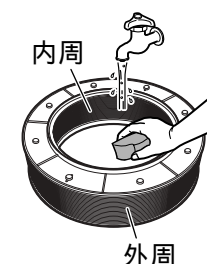
水質によっては水アカが付着する場合があります。多少付着していても性能上問題はありませんが、汚れがひどいときは、掃除してください。

■ディスクユニット・トレイの取出しかた
→16ページの「トレイ(排水)手順1~5」を参照

1 ディスクユニットをスポンジで洗う

内周・外周を洗う
洗剤は使用しないでください。

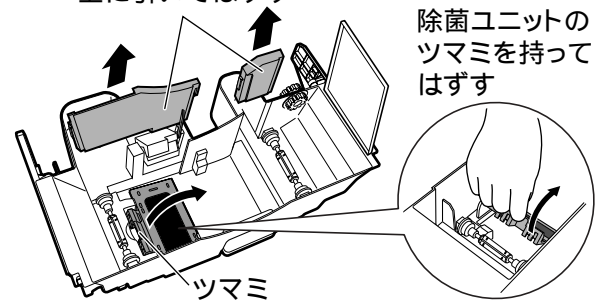
ディスクの間に汚れが
つまったときは P18



2 トレイから除菌ユニット・仕切板をはずす

仕切板(2カ所)を上へ引いてはずす

除菌ユニットのツマミを持ってはずす



3 トレイをスポンジで洗う

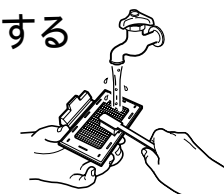
水位センサー取りはずしたり、強く押しついたりしないでください。誤動作・故障の原因になります

ディスク受け(2本)はずさないでください。はずれたら取付けてください。P16

- 汚れが落ちないときは、薄めた台所用中性洗剤で洗い、水ですすぎ洗いをして洗剤をよく落としてください。
- 水アカが落ちにくいときは、割りばし等でこすり取ってください。
- 水位センサーが軽く上下に動くことを確認してください。

4 除菌ユニットを水洗いする

歯ブラシ等で軽くこすり洗い
洗剤を使用しない、また、分解しない



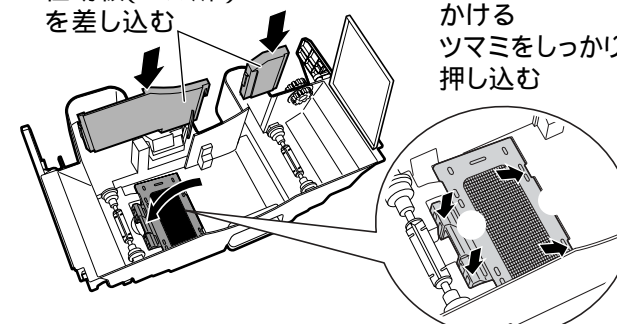
5 ディスクユニット・トレイ・除菌ユニットの水分をふき取る

柔らかい布で水気をふき取る
お手入れ後、すぐに運転する場合は、ディスクユニットの水気を軽く切ってお使いください。

6 除菌ユニット・仕切板をトレイに取付ける

仕切板(2カ所)を差し込む

ツメ(2カ所)をかける
ツマミをしっかりと押し込む

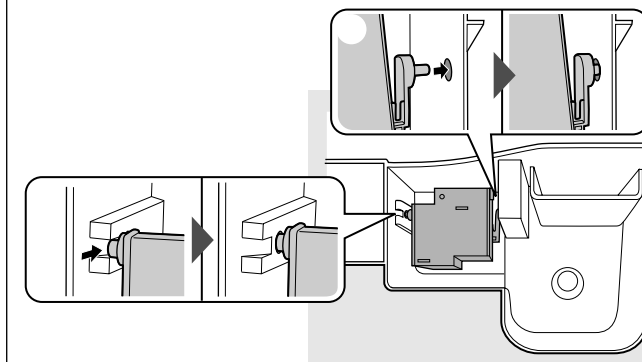


除菌ユニットが確実に取付けられていないと、異常音の原因になります。

■ディスクユニット・トレイの取付けかた
→16ページの「トレイ(排水)手順7~11」を参照

水位センサーがはずれたときは

バネ側の突起を取付ける
突起を溝に合わせて押し込み、取付け穴に入れる
水位センサーが、軽く上下に動くことを確認する





警告

●お手入れは電源プラグを抜いてから行なう。感電の原因になります。

●本体を水につけない、水をかけない、直接水を入れない。火災・感電・ショートの原因になります。

ディスクの間に汚れでつまったとき

ディスクユニットのつけ置き洗い

水質によっては水アカが付着する場合があります。汚れがついたまま使い続けると、ディスクの間につまることがあります。

「クエン酸」でつけ置き洗いしてください。

- 「クエン酸」と「台所用の塩素系漂白剤」を一緒に使わないでください。
- 「クエン酸」は薬局・薬品店でお買い求めください。
- 水アカの色(白・茶・黒)や固さは、水質によって異なります。

1 トレイを引出し、ディスクユニットを取出す P16

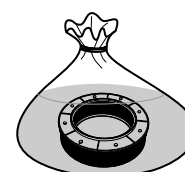
2 ポリ袋に、水とクエン酸を入れる

クエン酸使用量：水1Lあたり10g
ポリ袋のめやす：45L以上

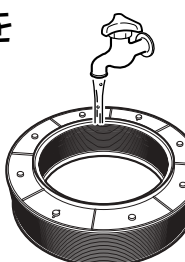


水もれが心配な場合は、ポリ袋を二重にするか、水もれしても影響のない場所(浴室・屋外など)で行なってください。

3 ポリ袋にディスクユニットを入れ、約4時間放置する



4 ディスクユニットをよく水洗いする



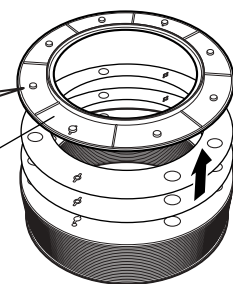
クエン酸でつけ置き洗いしても、ディスクの間の水アカや汚れが落ちないときは、ディスクユニットを分解して掃除してください。

1 ディスクをはずす



外板

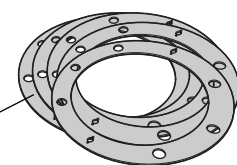
ネジ(8カ所)をまわし、外板・ディスクをはずす



2 ディスクを水洗いする

柔らかいスポンジで洗い、軽く水気を切る

ディスク(30枚)

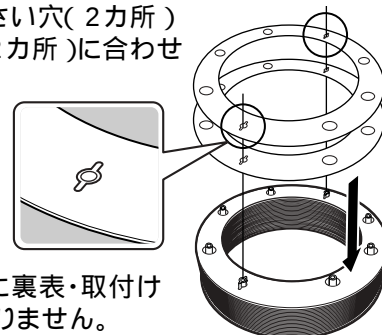


洗剤は使用しないでください。

ディスクをなくしたり割ってしまった場合は、そのまま使用せず、新しいディスクをお買い求めください。P19

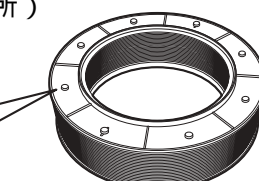
3 ディスク(30枚)を取付ける

ディスクの小さい穴(2カ所)を小さい軸(2カ所)に合わせ取付ける



ディスクに裏表・取付け順序はありません。

外板を取付け、ネジ(8カ所)をまわしてとめる



ネジをしっかりしめてください。ネジがゆるんでいるとディスクユニットが回転しなかったり、異常音がする原因になります。

- タンク・トレイ・ディスクユニットにヌメリや、ピンク色・赤色の付着物があるとき
- ニオイがするとき

タンク・トレイ・ディスクユニットのつけ置き洗い

タンク・トレイ・ディスクユニットを、「台所用の塩素系漂白剤」でつけ置き洗いしてください。

- 「台所用の塩素系漂白剤」と、「酸性タイプの洗剤」や「クエン酸」を一緒に使わないでください。
- 「台所用の塩素系漂白剤」以外の洗剤を使うと、製品にヒビが入ったり、割れたりすることがあります。

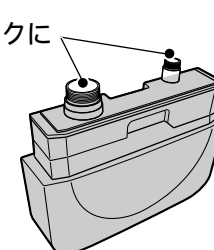
1 トレイを引出し、ディスクユニット・除菌ユニットを取出す P16・17

2 漂白液を入れて、約12時間放置する

漂白液・・・台所用の塩素系漂白剤を、水で100倍に薄めた液

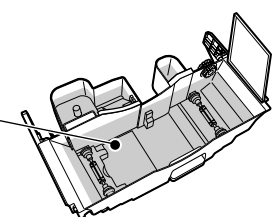
●タンク

給水タンク・水回収タンクに「漂白液」を入れ、キャップを閉める



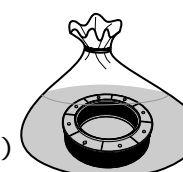
●トレイ

「漂白液」を入れる



●ディスクユニット

ポリ袋に、ディスクユニットと漂白液を入れる(ポリ袋のめやす:45L以上)



水もれが心配な場合は、ポリ袋を二重にするか、水もれしても影響のない場所(浴室・屋外など)で行なってください。

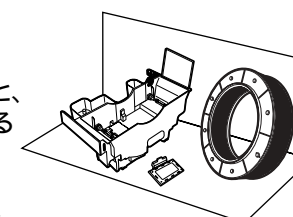
3 タンク・トレイ・ディスクユニットをよく水洗いする

保管と廃棄

保管するとき

1 お手入れ P15-19 のあと、よく水をふき取って陰干しする

水気を切り、陰干しで充分乾燥させる。ぬれたまま放置すると、雑菌やカビが繁殖する原因になります。



<タンクの乾かし方>

扇風機の風を当てて乾かしてください。給水用キャップ・排水用キャップをはずし、給水口・排水口からタンク内に扇風機の風が入るように置く。

2 お買上げ時の包装箱に入れるか、ポリエチレン袋などで包み、保管する

高温になるところを避け、湿気の少ない所で保管してください。

ディスク等が破損したときは

ディスクユニット・除菌ユニットの交換は不要ですが、破損してしまった場合は、新しいものと交換してください。

- 交換用 ディスク(1枚)
 - サービス部品番号 M43 P49 110D
- 交換用 除菌ユニット
 - サービス部品番号 M43 P49 310J

お買上げの販売店、またはお近くの「三菱電機 修理窓口」にお問合わせください。P23

廃棄するとき

各自治体のゴミすて規則にしたがって、廃棄してください。

- ディスク
 - <材質>ABS樹脂
- 本体
 - 分解せずに、ゴミすて規則にしたがって処分してください。

故障かな？と思ったら

下記の症状については、原因・処置方法の欄をお読みください。

状 態	原因・処置方法
●加湿しない (運転しない) ●給水タンクの水が減らない	●湿度が高くなっていませんか。(特に、夜中は自然に湿度が上がります。) →目標の湿度に達すると加湿を止め、湿度が下がってくると加湿を再開します。 P12-13 ●「自動」「静音自動」「のど」「うる肌」で運転していませんか。 →目標の湿度に達すると加湿を止め、湿度が下がってくると加湿を再開します。 P12-13 ●電源プラグがはずれていませんか。 →電源プラグをコンセントに差し込んでください。 P11 ●エアフィルター・フィルターカバーが目づまりしていませんか。 →お手入れしてください。 P15 ●ディスクユニット固定用ダンボールをはずし忘れていませんか。 →お買上げ時は、ディスクユニットの周りに固定用ダンボールが入っています。トレイを引出してダンボールを取り除いてください。 P16-17
○給水 点灯	●給水タンクの水がなくなっていますか。
U2 点灯	→給水タンクに給水し、運転スイッチを入れ直してください。 P10-14
運転中のモードランプが点滅	●吸気温度が0 以下、または35 以上になっていませんか。
	(暖房機の温風が本体にあたっていないか。)
	→吸気温度が0 ~35 のところに設置し、運転スイッチを入れ直してください。 P6-7
	●壁やカーテンに近すぎませんか。→正しい設置場所で使用してください。 P6-7
U4 点灯	●背面カバーがはずれていませんか。
運転中のモードランプが点滅	→背面カバーを取付け直し、運転スイッチを入れ直してください。 P16
湿度	●「静音自動」「長時間(弱)」で運転していませんか。
	→他の運転に切換えてください。 P12-13
	●エアフィルターが目づまりしていませんか。→お手入れしてください。 P15
	●室温が低いときは、湿度が上がりにくくなります。 P3
	●部屋が広すぎませんか。→適用床面積の範囲でお使いください。 P22
	●窓や出入口の開閉が多いと能力不足となり、湿度が上がりにくい場合があります。
	●部屋の壁材・床材や木製の家具が乾燥状態にある場合は、湿度が上がりにくくなります。
	→3~4週間様子を見てから、湿度が上がるかご確認ください。
	●窓や天井が結露していると、湿度が上がらない場合があります。
湿度が上がらない	
湿度が高くなっても運転が止まらない	●「長時間(弱)」「連続(強)」で運転していませんか。 P13
	●直射日光や暖房機の温風が直接本体にあたっていないか。 P6-7
	→正しい設置場所で使用してください。
加湿機の現在湿度と他の湿度計の表示が違う	●同じ部屋でも、場所によって湿度差があるためです。 P6-7
	●加湿機の湿度センサーと湿度計では、精度や湿度の変化に対する応答の速さなどが違うため、同じ場所に置いても±10%程度異なることがあります。 P7
	●エアフィルターが目づまりしていませんか。→お手入れしてください。 P15
現在湿度がいつも高い	●北側にある部屋や、浴室などの水回りに近い部屋には湿気がこもりやすいため、湿度が高い場合があります。 P6-7
	→風通しの良いところで運転しても状態が変わらないときは、下記の方法で湿度センサーが正常か確認してください。
湿度センサーの反応確認方法 <使用するもの:ドライヤー>	
運転中に、ドライヤーを通気口 P8 から15cm程度離し、温風を約1分間当てる。(ドライヤーに出力切換がある場合は、「弱」で)	
湿度表示が下がってくれば正常です。下がった後、しばらくすると湿度表示が上がることも確認してください。	
本体の温度異常検知により、現在湿度表示部に U2 が点灯した場合には、約10分間待ってから、再度運転スイッチを「入」にしてください。	

状 態	原因・処置方法
音がする	●ディスクユニット固定用ダンボールをはずし忘れていませんか。
	→お買上げ時は、ディスクユニットの周りに固定用ダンボールが入っています。トレイを引出してダンボールを取り除いてください。 P16-17
	●給水タンクからトレイに水が供給されるとき、給水タンクの中に空気が入る音です。
	●給水用キャップの空気穴が、水やゴミでつまっていますか。
	→つまっている水やゴミを取り除いてください。 P15
	●加湿中は、ディスクユニットが回転する音がします。
	●タンクを本体からはずして、キャップを上にして置いたときに、給水用キャップからタンク内の空気が出る音です。
	●ディスクユニットを回転させるモーターのギアが切替わる音です。
	運転開始時・運転切換時に音がすることがあります。
ニオイが出る	●新品のディスクユニットは、使いはじめにニオイがすることがあります。
	しばらく加湿すると、ニオイは徐々に薄れてきます。
	●エアフィルターが汚れていませんか。
	→お部屋やタバコのニオイがエアフィルターに付着して、ニオイが出ることがあります。お手入れしてください。 P15
	●タンク・トレイ・ディスクユニットにヌメリや、ピンク色・赤色の付着物がありますか。
	→水アカが付着しています。タンク・トレイ・ディスクユニットをつけ置き洗いしてください。 P19
ディスクユニットに粉のようなものが付着している	●水回収タンクにたまった水を、給水のたびにすてていますか。
	水回収タンクの水をすてないと、水アカがつきやすくなります。水回収タンクの水をすてても、水質によっては水アカがつくことがあります。
	水アカの色は、水質により白・青・茶・黒などになります。
	→多少付着していても性能上問題ありませんが、気になるときはお手入れしてください。 P17
タンク・トレイ・ディスクユニットにヌメリや、ピンク色・赤色の付着物があるとき	●月に1回程度、トレイの水を排水していますか。
	→トレイの水を排水しないと、汚れが付着します。タンク・トレイ・ディスクユニットをつけ置き洗いしてください。 P19
給水ランプ	●水位センサーがひっかかったり、はずれたりしていませんか。
	→水位センサーの周りのゴミを取除き、取付けを確認してください。 P8-17
	●給水した給水タンクをセットしたあと、運転スイッチを入れ直しましたか。
	→ランプ点灯後に給水したときは、運転スイッチを入れ直してください。 P14
	●水位センサーがひっかかったり、はずれたりしていませんか。
	→水位センサーの周りのゴミを取除き、取付けを確認してください。 P8-17
A1 A6 E0 E1 どれかを表示 すべてのランプが消灯	●故障です。
	運転スイッチを「切」にして電源プラグを抜き、お買上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。 P23
上記の処置をおこなっても状態が直らなかったり、異常表示が消えない、また水が漏れる場合は、運転スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜き、お買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。 P23	

愛情点検	長年ご使用の加湿機の点検を!	加湿機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。	
	ご使用の際に このようなことは ありませんか ●コゲくさい臭いがする。 ●水漏れする。 ●本体が異常に熱い。 ●運転中異常な音をする。 ●その他の異常や故障がある。	ご使用中止 故障や事故防止のため、運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理(有料)をご相談ください。	

 三菱電機株式会社
 三菱電機ホーム機器株式会社

〒369-1295 埼玉県深谷市小前田1728-1